

“「感情」に働きかけ「行動」を変える”というのは、生徒の主体性の育成につながる。そもそも人には生まれつき主体性はある。幼児期前期には、幼児が何でも口に入れたりしてびっくりした経験はないか。これは「拡散的好奇心」という。幼児期後期には、虫が好きとか汽車が好きとか何かに興味を示したりする。これは「特殊的好奇心」という。実は、そもそも好奇心という主体性は誰にでもあり、この幼児期の好奇心を充足させると、主体性の中核は形成されると言われる。ただ、それがなされてきたかは私たちにはわからない。また、この好奇心というものは発達段階が進むにつれ薄れていく。そこで、中高生は、日々の目標や先の目標をつくることで主体性を育成している。

今号は、思いつきで学年歴や学期を意識してざっくり書いてみた。語ることは教師の醍醐味かもしれない。

◆1年生これから…

「みんなはやればできるが、まだ本気でやっていない。今はやらされてできる段階。いつまでもやってもらうな。3年生になるまでには自分でできるようになれ」

「守破離、1年生（1学期）は型を学べ、型があってはじめて型破りになる。そうでなければただの形無し。2年生（2学期）ではそれぞれの目標に向かったコースを進め、そして3年生（3学期）では自走しろ」

◆2年生中だるみ…

「人はやる気がなくてもやると決心することができるし、やる気がなくても全力でやることができる。人はそういう不思議な生き物だ。だからとりあえずやると決めてやれ。やる気なんて後からついてくる。やる気をつくり方、やる気なんて後からついてくるというのを学ぶのもいい」

「体育祭から勉強への切り替えができてはじめて体育祭の目的がすべて達成される」

◆3年生守破離の「破」…

「自分の限界を超える『守』から『破』に向かうとき『ない（やらない）』ものを見る姿勢が必要となる。『ない（やらない）』を見て『ある（やる）』をやりきることができる」

◆3年生守破離の「離」…

「みんな教科書を読むときに何が書いてあるかを理解することばかりに熱心であるけど、そこに何が書かれていないかを読み取ろうとはしない。『ない』ものを見ることで『ある』ものの意味が見えてくる。本校には、他の学校になくて、本校にあるものが少なくとも〇つある。その逆も。（この時期こういう行事を入れていないのは行事に逃げずに自分を見つめる時期、定期考査が終わると必ずスポーツ大会を入れているのは切り替えを学ばせる等）」

意味と感情と行動の相互作用について

| | ルール | リレーション |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 意味 | <p>○目標の明確化やスモールステップ化を行うとともに、ルールの意味を絶えず子どもに話している。</p> <p>☆つまり、行動への目標化だけでなく、行動したことの意味付けも行われる。また、スモールステップで達成感を味わうことができ、プラスの感情をもちやすい。</p> | <p>○チームワークの必要性を常に語りかけている。</p> <p>☆〈関係性→思考→行動→結果〉のサイクルを意味付けることで、積極的に行動し、プラスの感情をもちやすい。</p> |
| 行動 | <p>○日常の細かな活動（給食準備、整列…）を一定の型で示している。</p> <p>☆効率的であることで、意味も強化されやすい。公平的であることで、プラスの感情をもちやすい。</p> | <p>○小グループで、互いのかかわる機会を多くする。また、役割も明確になるように活動させている。</p> <p>☆認め合う、伝え合う振り返り活動を行うことで、集団の一員である意味や感情をもちやすい。</p> |
| 感情 | <p>○逸脱行為、トラブルの場合にも、単に叱責するのではなく、相手の気持ちになることを促し、子どもの感情や罪悪感に訴えかけている。</p> <p>☆感情に伴って問題行動が誘発されることが多いので、まずは行動の意味を考えさせ、その上で感情を変容させ、結果として行動を変容させる。</p> | <p>○行事の後の振り返りだけではなく、日々の活動の振り返りをしている。活動の是非だけでなく、そのときの感情交流も行っている。</p> <p>☆プラスの感情交流が具体的な行動に対する肯定感をもたらしたり、行動を強化したりする。</p> |

